

2020年6月26日付掲載

## 横浜銀 アフターコロナ営業 支援策を相次ぎ展開

横浜銀行はビジネスマッチングを強化する。新型コロナウイルスに影響している法人に対し、「資金を供給した後の本業支援」(大矢恭好頭取)の二環として、オンライン相談会も使って支援し

時期	提携企業	内容
6月1日	シンカ	テレワーク中の電話対応システム
//	ココベリ	経営支援プラットフォームに参加
6月12日	リーテックス	デジタル契約書や申込書の作成
//	スタディスト	写真や動画で業務手順書を作成

横浜銀行は、最近のコロナ対策融資は直近で5400件(うち条件変更1700件)。今後は「融資返済に向けたアフターコロナ」(大矢頭取)の取り組みに力を入れる。

高宏社長は「テレワークの社員宛電話を誰でも対応できる」とし、テレワーク導入企業の課題である電話環境の相談にのる。

横浜銀は基本的にオンライン相談会で課題解決に取り組む。地方銀行と初提携したリーテックスは、「信頼し

ている取引銀行から紹介を受ければ、インターネットだけの説明も不安感を解消できる」と期待する。

第一弾で提携したシンカのクラウド型サービスは、電話番号から名前、連絡先、折衝履歴など30の情報があるシンカやスマートフォンで確認できる。シンカの江尻を提携している。横浜銀は基本的にオンライン相談会で課題解決に取り組む。地方銀行と初提携したリーテックスは、「信頼し

ている取引銀行から紹介を受ければ、インターネットだけの説明も不安感を解消できる」と期待する。

ココベリが提供する経営支援プラットフォーム「ビッグ・アドバンス」は、横浜銀の会員制ポータルサイト「ビジネスコネクト」の有料コンテンツにする。今後も、例えば入り口で体温を測るサーモグラフィ、アパート経営者向けに宅配ロッカー業者などとの提携を予定している。